

■シャワートイレシートタイプ——本サイトでの用途区分

- 一般用
パブリック用やユニットバス用などを除く、一般向けの商品です。
- パブリック用
搭載機能による男性用/女性用の区別や、給水ホースの接続部分がナット式になったものなど、パブリック場面での使用を考慮した商品を分類しました。
- ユニットバス用
ホテルのユニットバスにおすすめの商品です。一般的なトイレ空間とは異なるユニットバスでの使用を考慮した機能の搭載や、機種によって電源ボックスの設置や給水・給湯配管の接続による洗浄水の給湯方式などの設置も特徴です。

■便座タイプ——大型、標準、大型共用

便器のサイズには、大型と標準の2タイプがあります。便座もこれにあわせて大型、標準のタイプがあります。
シャワートイレシートタイプにおいては最近では大型、標準ともに対応する大型共用タイプが主流です。
(便器便座の組み合わせでこれとは異なる場合もあります)



■便座形状

●前丸便座



便座が丸くつながっているタイプです。
O型ともいいます。

●前割便座



便座がつながっていないタイプです。
U型ともいいます。

■シャワートイレシートタイプと暖房便座

●シャワートイレシートタイプ

便座にシャワートイレの機能部を組み込んだもので、便座交換でシャワートイレにできるものです。
下記の3つのタイプがあります。



便座の脇に操作部があるタイプです。



便座の脇に操作部がなく、リモコンで操作するタイプです。



便座の脇に操作部があり、レバーの操作で洗浄水を出すタイプです。
(現在ありません。)

●暖房便座

便座内部に組み込んだセンサーで便座の温度を検知して便座ヒーターをコントロールし、温度を調節します。

■専用便座

幼児用洋風便器やバリアフリー対応便器などの形状にあわせた専用便座があります。

幼児用洋風便器と専用便座



バリアフリー対応便器と専用便座





■シャワートイレシートタイプー給水方式

- 貯湯式
一定温度に温めて保温された温水をあらかじめ温水タンクに貯え、温水を出す方式です。貯えている温水を使うので、たっぷりの湯量で洗浄できますが、洗浄時間が長くなると温水温度はだんだん低下します。
- 瞬間式(連続出湯式)
使用の都度、瞬時にヒーターで温めて温水を出す方式です。使用時に温める方式のため、長時間使用しても温水温度は一定です。

■シャワートイレシートタイプー省エネルギーラベル(省エネ基準達成率)

省エネルギー法のトップランナー基準による省エネ性能を示すもので、省エネ基準達成率100%以上の商品は緑色、100%未満の商品はオレンジ色のマークを、省エネ基準達成率、年間消費電力量とともに表示しています。「省エネ基準達成率」は、省エネルギー法に定められた目標年度に対する達成率を示しています。%の数値が大きいほど省エネ性が優れています。

表示例(電気便座)

	省エネ基準 達成率 100%	年間消費電力量 135kWh/年 (179kWh/年)		省エネ基準 達成率 85%	年間消費電力量 215kWh/年 (302kWh/年)
目標年度 2012年度			目標年度 2012年度		

温水洗浄便座・暖房便座の消費電力量測定基準について

省エネ法に基づいて、湯沸かし方式などの種類別の算定式により、4人家族(男性2人、女性2人)で1日あたり16回使用した場合を基準に便座部は季節別、温水部は年平均で年間消費電力を算出したものです。タイマー節電機能は、一般家庭でのタイマー平均使用時間(7.7時間)で算出しております。

温水洗浄便座・暖房便座の消費電力量について

年間消費電力量は、2012年度基準に基づく測定で()内はタイマー節電を使用しない場合の年間消費電力量です。消費電力量は、季節によって異なることから、「年間あたり」の値にしています。実際にお使いになるときの消費電力量は、周辺温度や機器の温度設定、節電機能などの使い方によって変化しますので、あくまでも目安としてご覧ください。

■シャワートイレシートタイプースローダウン便座、脱臭機能、温風乾燥

シャワートイレで古くからある機能ースローダウン便座、脱臭機能、温風乾燥について説明します。これらの詳細、この他の機能については商品ごとに異なるため、カタログ等を参照してください。

- スローダウン便座
便座と便フタがゆっくり降りて閉まる機能です。衝撃音をやわらげます。今ではどの機種にも搭載されている機能です。
- 脱臭機能
脱臭機能は、脱臭ファンで便鉢内のニオイを吸引し、脱臭カートリッジでニオイをとります。脱臭カートリッジの交換の目安は現在は7年になりました。基本的には使用者の便座への着座をセンサーで検知して作動するものですが、機種によっては複数の作動モードから設定選択できたり、ターボ脱臭などへの能力切替など、作動状態の選択が可能になるなど多機能になってきています。
(古くは、脱臭カートリッジの交換の目安が1年のものもありました。)
- 温風乾燥
シャワーの後に温風乾燥を使用することでぬれた部分にさっぱり感を与えます。温風温度の切替のほか、機種によっては温風始動温度の切替えができるものもあります。